



# 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 タカセ株式会社  
コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3571-9497  
(氏名) 大宮司 典夫  
(氏名) 笹岡 幹男

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,976	13.3	65	56.3	95	54.1	69	59.0
2023年3月期第2四半期	4,585	8.8	150	18.7	208	35.3	170	30.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 144百万円 (37.1%) 2023年3月期第2四半期 229百万円 (5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	69.85	
2023年3月期第2四半期	171.21	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	9,890	6,975	70.5	6,966.43
2023年3月期	9,997	6,890	68.9	6,904.02

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,975百万円 2023年3月期 6,890百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		70.00	70.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,250	7.3	210	29.0	260	30.0	200	28.3	200.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,054,513 株	2023年3月期	1,054,513 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	53,279 株	2023年3月期	56,413 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	999,436 株	2023年3月期2Q	995,555 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においても当社グループは、社訓「まごころ」、社は「ADD SYSTEM」に基づき、顧客目線を大切にされた品質第一のサービス提供を行うべく、業務に取り組んでまいりました。特に、当社グループの新たなチャレンジである「将来を見据えた、より社会貢献度の高い商品分野へ新しい物流サービスの提供」への実現に向けて、当社が取得している「医療機器製造業」免許を活用した営業活動に注力し、新規顧客の獲得にもつなげてまいりました。また、輸出入業務においては貨物取扱量を拡大すべく、これまで当社が展開していなかった新たなビジネスの構築に向けても取り組んでまいりました。さらに、今後の当社の事業展開拡大の第一歩となる新規営業拠点の展開についても、より具体的に立ち上げに向けた検討を重ねてまいりました。

一方でコスト上昇への対策として、高いサービスレベルは維持しながら、かねてより継続してきた作業人員数の見直しや適正な配置、作業費に占める固定比率抑制等の人件費圧縮のための施策にも積極的に取り組んでまいりました。加えて、業務効率化に向けた物流機器導入の検討を進め、2023年10月より本格稼働できる運びとなりました。また、高騰する電力料金削減ならびに温室効果ガス排出削減に向けた取組として、基幹営業所において節電設備を導入したことにより、全社基準での電力使用量が前年同期対比11.4%の減少となるなど成果が現れております。同時に、收受価格についても、顧客への丁寧な説明を行いながら、当社の提供する品質第一のサービスに対しての適正な対価として理解を得ることで、早期の価格改定を実現できるよう、引き続き粘り強く取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、期初からの收受料金改定による増収要因はあったものの、前年の上期まで継続していた海上運賃の高止まりによる收受料金上昇の効果が剥離したことに加え、国際貨物の荷動きが低調であったことから、前年同期間と比較して、13.3%減の39億76百万円となりました。

利益面につきましては、引続きコスト削減に努めた一方、前期は好調であった中国現地法人の業績が、中国国内における物流の停滞により、低調であったことに加え、営業収益減少による影響が大きく、営業利益は、前年同期間と比較して、56.3%減の65百万円となりました。また、経常利益においては、同54.1%減の95百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は同59.0%減の69百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、收受価格の改定および医療機器製造業免許を活用した顧客の獲得による増収効果はあったものの、前年上期まで続いた海上運賃の高止まりを受けた收受価格上昇の反動減や輸出入貨物の取扱減少の影響を受け、営業収益が前年同期間と比較して13.5%減の39億35百万円となりました。営業利益は、営業収益減少の影響が大きく、62.5%減の48百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、一部既存顧客の業務取扱量は増加したものの、主要顧客の業務取扱量減少の影響が大きく、前年同期間と比較して5.8%減の1億50百万円となりました。利益面では、営業収益減少の影響を受け、前年同期間から5百万円減少し、2百万円の営業損失となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。国内物流業務取扱は堅調に推移し、営業収益は前年同期間と比較して1.7%増の5億13百万円となりました。営業利益は、労務コスト上昇の影響を受けたものの、営業収益の増加によりそれを補ったことから、前年同期間と比較して14.9%増の6百万円となりました。

(注) 上記営業収益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

##### A. 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億6百万円(1.1%)減少し、98億90百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が71百万円、有形固定資産が49百万円減少したことによるものであります。

##### B. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円(6.1%)減少し、29億15百万円となりました。

この主な要因は、長期借入金が1億74百万円減少したことによるものであります。

#### C. 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ84百万円(1.2%)増加し、69億75百万円となりました。

この主な要因は、為替換算調整勘定が45百万円、その他有価証券評価差額金が29百万円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが2億59百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが69百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが2億91百万円の減少となり、現金及び現金同等物に係る換算差額を調整した結果、前連結会計年度末より76百万円減少し、19億99百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得された資金は、2億59百万円(前年同期間対比41百万円の資金獲得減)となりました。

この主な要因は、資金増加要因として税金等調整前四半期純利益が98百万円(前年同期間対比1億11百万円の資金減)、減価償却費が1億66百万円(前年同期間は1億57百万円)、売上債権及び契約資産の増減額が65百万円(前年同期間は1億27百万円の資金減)あった一方で、資金減少要因として仕入債務の増減額が45百万円(前年同期間対比42百万円の支出増)、法人税等の支払額が47百万円(前年同期間対比5百万円の支出減)あったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は、69百万円(前年同期間対比69百万円の支出減)となりました。

この主な要因は、資金減少要因として有形固定資産の取得による支出が68百万円(前年同期間対比66百万円の支出減)あったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出された資金は、2億91百万円(前年同期間対比51百万円の支出増)となりました。

この主な要因は、短期借入金の返済による支出が65百万円(前年同期間は3億20百万円の資金減)、長期借入金の返済による支出が1億57百万円(前年同期間は1億44百万円の資金減)、配当金の支払額が69百万円(前年同期間は72百万円の資金減)あったことによるものであります。

なお、資本の財源及び資金の流動性に係る情報に関しては、2023年6月28日に提出した第107期の有価証券報告書の記載内容に重要な変更はありません。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、業績が期初予測時の進捗からは若干下振れしているものの、第1四半期連結会計期間の低迷からは底を打ったと考えられることから、通期では概ね予想どおりの結果になると見込んでいるため、2023年3月期決算短信(2023年5月12日付)で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,115,030	2,043,071
売掛金及び契約資産	1,017,072	968,429
原材料及び貯蔵品	12,962	12,962
前払費用	47,786	54,904
その他	155,126	171,479
貸倒引当金	△1,102	△1,080
流動資産合計	3,346,875	3,249,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,997,116	10,017,401
減価償却累計額	△7,366,710	△7,479,013
減損損失累計額	△64,872	△64,872
建物及び構築物（純額）	2,565,533	2,473,516
機械装置及び運搬具	1,933,070	1,933,126
減価償却累計額	△1,827,089	△1,841,453
減損損失累計額	△2,277	△2,277
機械装置及び運搬具（純額）	103,704	89,395
土地	2,335,562	2,335,562
その他	680,071	711,083
減価償却累計額	△547,615	△520,742
減損損失累計額	△12,027	△13,152
その他（純額）	120,428	177,189
有形固定資産合計	5,125,229	5,075,664
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	55,061	49,222
無形固定資産合計	513,547	507,709
投資その他の資産		
投資有価証券	563,659	604,543
繰延税金資産	24,672	25,767
その他	426,512	430,375
貸倒引当金	△3,480	△3,231
投資その他の資産合計	1,011,363	1,057,455
固定資産合計	6,650,141	6,640,828
資産合計	9,997,017	9,890,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	421,151	384,971
短期借入金	320,000	255,000
1年内返済予定の長期借入金	498,000	515,000
未払費用	90,567	95,793
未払法人税等	53,527	35,834
賞与引当金	58,933	71,855
その他	105,172	145,639
流動負債合計	1,547,350	1,504,094
固定負債		
長期借入金	943,000	769,000
退職給付に係る負債	382,425	397,785
その他	233,333	244,690
固定負債合計	1,558,759	1,411,476
負債合計	3,106,110	2,915,570
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,171,719
利益剰余金	2,421,089	2,421,028
自己株式	△148,685	△140,433
株主資本合計	6,576,253	6,585,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,234	194,256
為替換算調整勘定	149,419	195,171
その他の包括利益累計額合計	314,653	389,428
純資産合計	6,890,906	6,975,023
負債純資産合計	9,997,017	9,890,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業収益	4,585,584	3,976,967
営業原価	3,963,066	3,470,422
営業総利益	622,517	506,544
販売費及び一般管理費	471,670	440,684
営業利益	150,847	65,859
営業外収益		
受取利息	281	1,373
受取配当金	14,741	14,400
受取賃貸料	11,921	11,926
為替差益	30,604	4,599
その他	16,430	8,771
営業外収益合計	73,979	41,071
営業外費用		
支払利息	12,310	9,901
その他	4,081	1,404
営業外費用合計	16,391	11,305
経常利益	208,434	95,626
特別利益		
固定資産売却益	1,432	3,954
特別利益合計	1,432	3,954
特別損失		
固定資産除売却損	27	495
減損損失	—	845
特別損失合計	27	1,341
税金等調整前四半期純利益	209,839	98,239
法人税、住民税及び事業税	45,952	29,008
法人税等調整額	△6,560	△575
法人税等合計	39,391	28,433
四半期純利益	170,447	69,806
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,447	69,806



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	170,447	69,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,558	29,022
為替換算調整勘定	91,982	45,752
その他の包括利益合計	59,423	74,774
四半期包括利益	229,871	144,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,871	144,580

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	209,839	98,239
減価償却費	157,694	166,093
減損損失	—	845
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△194	△270
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,573	12,552
株式報酬費用	2,249	4,619
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19,287	15,103
受取利息及び受取配当金	△15,023	△15,773
支払利息	12,310	9,901
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,404	△3,458
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△127,702	65,184
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,135	△45,714
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,110	10,202
その他	95,153	△17,531
小計	351,523	299,993
利息及び配当金の受取額	15,003	15,776
利息の支払額	△12,555	△8,476
法人税等の支払額	△53,168	△47,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,803	259,591
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△39,378	△43,399
定期預金の払戻による収入	39,330	42,371
有形固定資産の取得による支出	△134,633	△68,228
有形固定資産の売却による収入	1,432	5,299
貸付金の回収による収入	490	270
その他の支出	△6,221	△5,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,980	△69,482
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△320,000	△65,000
長期借入れによる収入	297,000	—
長期借入金の返済による支出	△144,000	△157,000
自己株式の取得による支出	△151	△76
配当金の支払額	△72,690	△69,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239,841	△291,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	47,770	25,100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,247	△76,376
現金及び現金同等物の期首残高	1,993,020	2,076,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,962,773	1,999,672

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	3,268,433	21,705	2,948	3,293,087	15,324	3,308,412
中国	730,175	—	—	730,175	—	730,175
米国	411,158	—	—	411,158	—	411,158
顧客との契約から生じる収益	4,409,767	21,705	2,948	4,434,422	15,324	4,449,746
その他の収益(注) 4	135,837	—	—	135,837	—	135,837
外部顧客への営業収益	4,545,604	21,705	2,948	4,570,259	15,324	4,585,584
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,283	138,302	501,813	643,399	39,104	682,503
計	4,548,888	160,008	504,761	5,213,658	54,429	5,268,088
セグメント利益	129,627	2,853	5,620	138,100	6,345	144,446

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	3,308,412
中国	—	730,175
米国	—	411,158
顧客との契約から生じる収益	—	4,449,746
その他の収益(注) 4	—	135,837
外部顧客への営業収益	—	4,585,584
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△682,503	—
計	△682,503	4,585,584
セグメント利益	6,400	150,847

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額6,400千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	2,941,476	29,472	863	2,971,812	15,217	2,987,029
中国	690,730	—	—	690,730	—	690,730
米国	163,369	—	—	163,369	—	163,369
顧客との契約から生じる収益	3,795,577	29,472	863	3,825,912	15,217	3,841,130
その他の収益(注) 4	135,837	—	—	135,837	—	135,837
外部顧客への営業収益	3,931,414	29,472	863	3,961,750	15,217	3,976,967
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,908	121,241	512,525	637,674	37,701	675,376
計	3,935,322	150,713	513,388	4,599,424	52,918	4,652,343
セグメント利益又は損失(△)	48,641	△2,563	6,459	52,537	4,687	57,225

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	2,987,029
中国	—	690,730
米国	—	163,369
顧客との契約から生じる収益	—	3,841,130
その他の収益(注) 4	—	135,837
外部顧客への営業収益	—	3,976,967
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△675,376	—
計	△675,376	3,976,967
セグメント利益又は損失(△)	8,634	65,859

- (注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。  
2. セグメント利益又は損失の調整額8,634千円は、セグメント間取引消去であります。  
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。  
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失845千円を計上しております。